

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 29 年 12 月 6 日発行
第 28 号
発行人 校長 鈴木史良

安否確認訓練の実施について

—— 昨年に引き続き、危機管理の意識を高める ——

ヨーロッパ諸国でも危機管理の充実が重要視されてきている昨今、安全と言われているスイスにおいても何が起こるかわからない状況です。常に危機意識をもち、有事に備える心構えは欠かせません。

過日大使館から連絡があり、今年度も邦人の安否を確認する訓練を実施することになりました。昨年度は11月の最終週に実施いたしました。昨年度の想定は以下のとおりです。

<昨年度の訓練>

“フランクフルト発チューリッヒ行きのルフトハンザ便がチューリッヒ空港で着陸に失敗、機体が炎上する事故が発生した。ご家族の安否確認について協力をお願いしたい。”

大使館からの電話を受け取った私は、まず職員室の教頭に内容を伝達。その後、校内緊急放送を入れ、教頭とともに子どもたちを図書室へ一時移動させました。職員は職員室に集合し、私から大使館からの連絡概要を伝え、本校が即刻危険な状態に陥るものではないので、担任は継続して子どもの指導に当たること、担任外には一斉メール送信後の電話対応をすることを指示しました。

返答がなかったご家庭には電話連絡し、速やかに全員の安否確認ができました。学校からの一斉メールがたいへん役立ちました。一斉メール運用上で学ぶべきところもあったのは収穫でした。

<今年度の訓練>

今年度の想定は、校外での対応が要求されます。4月の日曜日におこなわれるゼクセロイテン・キンダーパレード中の子どもたちの列に、テロと思われる車両が突っ込み、被害が出たという想定です。ヨーロッパでは類似事件が複数起きているので、他人事ではありません。現場では全日全職員がパレードを見守っており、そのうち2名は子どもたちと一緒に進行しています。被害が発生した時点で、すぐに避難、救出活動をおこない、関係諸機関に第1次連絡をとります。事故事実の報告です。職員で手分けして全保護者に連絡します。現在のところ、一斉メールは学校からしか送信できませんので、携帯電話を使った連絡となります。

今回の訓練としては、事件発生後に速やかに全保護者と連絡がとれ、その結果を関係諸機関に報告した時点で終了といたします。

実際には、被害の実態及び被害者等の搬送先の連絡（第2次連絡）、休校措置も含めた今後の学校としての対応（第3次連絡）が必須事項



市街地をパレードする子どもたち(今年度)

となってくるでしょう。また、マスコミの取材等にも対応していく必要が出てきます。繰り返しになりますが、今回は第1次連絡とその確認のみで終了し、第2次、第3次の連絡はありません。

実施予定は、来週、12月11日(月)から15日(金)のいずれかの日の午後となります。

今回の訓練は、事故事実(訓練)をお知らせすると同時に、保護者も関連した被害を受けていないかどうか安否確認する連絡となります。お忙しい折り、ご迷惑をお掛けいたしますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

1月9日～11日「スキー教室」への取り組み

1月24日(金)の5校時に「スキー教室はじまり集会」があり、今年度も「スキー教室」に向けた取り組みがスタートしました。場所は、例年通りのザンクトガレン州フルムサーベルクのスキー場です。中学生の期末テストも終わったので、これからは「スキー教室」に向けての準備、係活動が本格化します。「スキー教室はじまり集会」では、今年度の担当、藤本先生のプレゼンテーションによる説明を楽しく聞くことができました。また、同時に係分担等も発表され、さっそくその場で係別会議が開かれ、係責任者等が決定しました。今週に入ると、ホテルでの部屋割りも発表され、子どもたちはみな「スキー教室」を心待ちにしているところでしょう。

今年は、スキーがはじめてという子どもたちが例年以上います。初めて履くスキーに、ちょっぴり不安を感じているかもしれませんが、何の心配もありません。1日目、2日目と、コーチがつきっきりで教えてくれますので、楽しく学んでいるうちに、どんどん上達していきます。言葉がわからなくても、身振り手振りで教えてくれる優しいコーチですので、安心して学ぶことができます。宿泊するホテルのスタッフもとても優しく親切で、日本人学校の児童生徒のことをよくわかってきています。

雪に覆われた峰々をヴァレン湖越しに眺めながら滑るスキーは、スイス生活の中でも最高の思い出の一つになるでしょう。



コーチによる指導の様子(昨年度)

第2回学校評価について

2学期もあと2週間余りとなり、2回目の学校評価アンケートを先週金曜日に配付させていただきました。第1回の学校評価結果を踏まえ、少人数を生かした指導や日本人学校ならではの学習指導、挨拶や言葉遣いなどの生活指導等、日常の学校生活をとおして、また大きな学校行事をとおして子どもたちの成長を見つめ、改善を目指してまいりました。本校の教育につきまして、保護者の皆さまからのご忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。